

アレイ・ネットワークス、新機能 - "DDoS 防御"、"暗号化通信の見える化"、"ハイブリッド・クラウド環境のマルチサイト冗長化" - を発表

最新バージョン OS に DDoS 攻撃防御、SSL Intercept、GSLB 拡張機能を追加

カリフォルニア州ミルピタス—2017/3/21—アプリケーションデリバリネットワークキングのグローバル・リーダーである [Array Networks Inc.](#) (CEO: Michael Zhao、日本法人: アレイ・ネットワークス株式会社 神奈川県川崎市 代表取締役: 岡本恭一 以下"アレイ")は、新たなソリューションを発表しました。Array vAPV および APV シリーズ・アプリケーションデリバリコントローラの最新 OS となるソフトウェアには、「DDoS 攻撃に対する防御機能」、「SSL 暗号化トラフィックの可視化機能」、「パブリック/プライベート・ハイブリッド・クラウドのマルチサイト環境へ高可用性を提供するグローバルサーバロードバランシング(GSLB)の拡張機能」が新たに追加されます。

DDoS 攻撃の防御

2016 年は、分散型サービス停止(DDoS)攻撃の史上最悪の年でした。直近の状況を見ても、この攻撃の勢いは暫く衰えないであろうことが予測されます(*1)。Array APV シリーズ ADC は、アプリケーション、セッション、ネットワークの各レイヤでの優れた DDoS 防御機能を実装し、DDoS に対する防護線を設けることができます。DNS、HTTP、SSL、TCP、UDP、ICMP、IP の各プロトコルへの攻撃に対応し、機械学習による"異常検知"および"閾値自動設定"、さらに"疑わしいクライアントのフィルタリングや認可"、"レート・リミッティング"、"リセット"、"ブラックリスト化"などのアラームおよび防御がキー・テクノロジーとなります。

「IDC は、デジタル変革に伴い世界中の企業組織に求められるものとして、ビジネスの迅速性や競争優位性をもたらすマルチ・クラウド戦略に大きく注目しています」と、Brad Casemore 氏 (IDC, director of research for datacenter networking) は語ります。「しかし、それはアプリケーションデリバリとセキュリティに複雑さももたらします。後者は DDoS 攻撃の急激な増加によって悪化して行きました。アレイは、最新のソフトウェアリリースによって、容赦なく増加する DDoS 攻撃からユーザを守るだけでなく、ユーザ自身が"SSL intercept"を用いて増加する HTTPS トラフィックを管理することを可能にし、さらにはハイブリッド・クラウドのアプリケーションデリバリには、より高機能に拡張されたグローバルサーバロードバランシング(GSLB)を提供しています。」



SSL Intercept

昨今の HTTPS の暗号化トラフィック増加は、データ検閲や攻撃防御といった管理を行うセキュリティ・プロフェッショナル達に新たな課題をもたらしています。アレイの新機能“SSL intercept”は、高い性能と拡張性を備えたプラットフォーム上で HTTPS トラフィックを復号化し、平文となったトラフィックをアレイや 3rd Party のセキュリティ・デバイスやサービスに送り、それらを通過したトラフィックを再度受け取り、クライアント～サーバ間に透過な形で再暗号化することによって、この課題を解決します。レイヤ 2 または 3 における制御、ホワイトリストの通過、シミュレートされたサーバ証明書のキャッシュ、セキュリティ・デバイス間でのロードバランス、といった機能と共に、Array APV シリーズ ADC の“SSL intercept”は、HTTPS の暗号化トラフィックのセキュリティをさらに高めるため、ネットワークの様々な個所に導入することができます。

グローバルサーバロードバランシング(GSLB)

プライベートなデータセンタやパブリック/プライベートのクラウドに跨るデータセンタアーキテクチャの出現に伴い、複数サイト間での冗長構成は、急速にネットワークキングの基礎要件になりつつあります。Array APV シリーズ ADC では、以前より提供している GSLB 機能に加え、最新の APV バージョンにて、ハイブリッド・クラウドでの実装をより容易にするための拡張機能が強化されました。“DNS NAT”、“GeoIP データベース”、“マルチ-アライブデータセンタ”、“DNSSEC”、“SDNS HTTPS ヘルスチェック”などが追加されています。

ネットワーク・ファンクション・プラットフォーム&サービス・チェイニング

最新バージョン OS に新たに実装された機能は、Array AVX シリーズ ネットワーク・ファンクション・プラットフォーム上で、サービス・チェイニングを実現するために理想的なものです。AVX シリーズ - 仮想アプライアンスや仮想ネットワーク機能(VNF)をホスティングできる purpose-built(専用に設計された)なハードウェア・プラットフォーム - は、高度な敏捷性を備えており、従来のハードウェア・アプライアンス同様に性能を保証しながら、ネットワークキングやセキュリティのサービスを共有環境で管理できます。例えば、Array vAPV(仮想 ADC)を AVX シリーズプラットフォーム上に導入することによって、mission-critical なトラフィックフローに対し、可用性やセキュリティ、性能が維持できるようになります。ロードバランシング、SSL intercept、DDoS、WAF、GSLB、その他必要に応じてネットワークキングやセキュリティ機能を組合せ、トラフィックを通過させるのです。

「アプリケーションデリバりはこれまでも常に、mission-critical なアプリケーションに対し性能や可用性、そしてセキュリティを提供して来ました。しかし昨今、セキュリティは最も重要になりつつあります。」と、Paul Andersen (Array Networks, director of



marketing)は言います。「アレイの世界水準の SSL スタックと統合された WEB firewall をベースにした APV が、アプリケーションレベルのセキュリティに求められる機能を包括的に提供します。また、この“SSL intercept”機能は、当社の戦略上においても新たな基盤となるべきものです。ユーザやパートナーは、当社や 3rd Party 製のセキュリティ機能を連携させ、AVX シリーズ上で総合的なソリューション構築を実現できるのです。」

アレイ・ネットワークスについて

アレイ・ネットワークスは、全世界に5000以上のユーザ導入実績を持つアプリケーション・デリバリー・ネットワークングにおけるグローバル・リーダーです。数々の受賞歴を持つSpeedCore®ソフトウェアを核として、アレイのソリューションは、類を見ないパフォーマンスと総所有価値(total cost of ownership)により、大手企業、サービス事業者、公共機関などから高く評価されています。アレイはシリコンバレーに本社を置き、全世界で250人を超える従業員によって支えられており、また強力な投資家、経営陣、収益成長率による高収益な企業です。モバイルやクラウド分野での急激な成長に追従する態勢を持ち、Deloitte、Red Herring、Frost & Sullivanなどのアナリストやソートリーダーたちは、アレイ・ネットワークスを、その革新的な技術、優れた業務オペレーションや市場機会について高く評価しています。

詳しくは、こちらまで：www.arraynetworks.com

*1:

<http://www.circleid.com/posts/20170228> so long farewell the worst ddos attacks of 2016/

報道関係のお問合せ:

アレイ・ネットワークス株式会社

プロダクトマーケティング: 原田

TEL : 044-589-8315

E-mail: Marketing-j@arraynetworks.net